

3 「健康や生活に不安がなく、優しさと思いやりに満ちたまち」

(1) 誰もが健康で安心して暮らせる環境をつくります

=新規事業、=拡充事業 (事業名の頭に標記)

障がい者地域生活支援事業

1億714万円

(担当：社会福祉課障害福祉係)

訪問入浴サービス事業

自宅の浴槽で入浴することが困難な身体障がい者に、訪問による入浴等のサービスを行います。

日中一時支援事業

障がい者（児）に日中活動の場を提供し、家族の就労支援などのための一時的な見守りの支援を行います。

日常生活用具給付事業

重度障がい者等に対し、日常生活の便宜を図るためストーマ装具や杖などの日常生活用具の給付を行います。

相談支援事業

障がい者（児）からの相談に応じ、必要な情報の提供を行います。

自動車運転免許取得費・改造費助成事業

障がい者の社会参加の推進のため、自動車免許の取得費用及び自動車の改造費の一部助成を行います。

移動支援事業

屋外での移動が困難な障がい者（児）に、外出する時の支援を行います。

成年後見制度利用支援事業

判断能力が十分でない障がい者が、安心して日常生活を送れるように適切な支援者を選び、本人を保護し支援を行います。

コミュニケーション支援事業

言語による意思の疎通を図ることに支障がある障がい者を対象として、手話通訳者や要約筆記者を派遣するなどの支援を行います。

社会復帰施設運営事業

在宅の障がい者の社会復帰を促進するため、通所による作業指導及び生活訓練等の支援を行います。



コミュニケーション支援事業を活用した研修会の様子

財源 国の負担額 2,554万円 県の負担額 1,277万円 市の負担額 6,883万円

いのちを守る総合対策事業

1億316万円

(担当：社会福祉課社会福祉係、健康推進課保健指導係)

自殺防止について広く啓発するため、講演会等を実施します。また、悩みを抱えている方を地域ぐるみで見守り、必要な支援につなげることができるゲートキーパーの養成に努め、多重債務専用の電話相談や弁護士相談、栗原市のぞみローンによる資金融資などの自殺防止対策にも取り組みます。

3 「健康や生活に不安がなく、優しさと思いやりに満ちたまち」 (1) 誰もが健康で安心して暮らせる環境をつくります

=新規事業、=拡充事業 (事業名の頭に標記)

医療用ウィッグ・補正具購入費用助成事業

150万円

(担当：健康推進課健康推進係)

がん患者が、生き生きと社会で活躍できるよう、生活の質の向上と経済的負担軽減のため、医療用ウィッグ・乳房補正具購入費用の一部を助成します。

【補助内容】

補正具	上限額
医療用ウィッグ	30,000円
乳房補正具(右側)	20,000円
乳房補正具(左側)	20,000円

※ウィッグ…医療用補正具(かつら)

健康診査事業

2億3,572万円

(担当：健康推進課健康推進係)

市民の健康保持や病気の早期発見のため、各種健康診査・がん検診等により健康管理に対する支援を行います。

財源	負担額
国の負担額	18万円
県の負担額	243万円
利用者の負担額	4,075万円
市の負担額	1億9,236万円

築館多目的競技場整備事業

4億6,216万円

(担当：社会教育課スポーツ推進係)

2020東京オリンピックに出場する選手団の事前キャンプの誘致や、全国クラスの大会、大学等の合宿を積極的に誘致し、交流人口の増加を図るため、築館多目的競技場に管理棟などの施設を整備します。

財源	市の負担額
市の負担額	4億4,616万円
(うち市債[借入金])	4億1,820万円
その他の負担額	1,600万円



築館多目的競技場整備後のイメージ図

3 「健康や生活に不安がなく、優しさと思いやりに満ちたまち」

(1) 誰もが健康で安心して暮らせる環境をつくります

新=新規事業、拡=拡充事業 (事業名の頭に標記)

新 社会体育施設等改修事業 (栗駒テニスコート整備事業)

6,238万円

(担当：社会教育課スポーツ推進係)

利用者が安全・安心に活動できる環境を整え、新たな競技人口の増加を図るため、老朽化していた栗駒テニスコートを人工芝に改修し、照明設備を整備します。

財源	市の負担額	4,713万円
	(うち市債[借入金])	4,430万円)
	その他の負担額	1,525万円

ホッケー競技国際交流事業 290万円

(担当：社会教育課スポーツ推進係)

「ホッケーのまちくりはら」を確立するため、オーストラリアの中学生・高校生のホッケーチームと国際交流試合等を行います。



オーストラリアチームとの国際交流試合の様子

(2) 高齢者が生きがいを持ち、互いに支え合うまちを目指します

高齢者生きがい健康づくり等事業

7,743万円

(担当：社会福祉課社会福祉係)

高齢者が生きがいを持ち、いつまでも健康で、在宅生活ができるよう各種福祉サービスを提供し高齢者の支援を行います。

生きがい活動支援通所事業、外出支援サービス(タクシー利用助成)、食の自立支援(宅配給食サービス)、緊急通報体制等整備事業など10事業を実施します。



生きがい活動支援通所事業の様子

財源	利用者の負担額	1,535万円	市の負担額	6,208万円
----	---------	---------	-------	---------

(3) 市民が安心して暮らせるための地域医療を守ります

休日急患業務事業

798万円

(担当：健康推進課健康推進係)

栗原市医師会に休日等における急病患者への診療業務を委託し、診療体制を確保することで、市民の医療不安を解消します。

4 「地域の特性を生かした、産業や交流が盛んなまち」

(1) 持続可能な農林業の育成と栗原ブランドの確立に取り組みます

新＝新規事業、**拡**＝拡充事業（事業名の頭に標記）

拡 野生鳥獣対策事業 976万円

（担当：農林振興課林業振興係）

野生鳥獣による農作物等被害や人的被害を防止するため、鳥獣被害対策実施隊による有害鳥獣の計画的な捕獲を行います。

また、被害防止のため、電気柵等を設置された方に対する購入費用の助成や、新たに狩猟免許及び銃所持許可を取得した方に対する取得費用の助成を行います。

財源	県の負担額	50万円
	市の負担額	926万円



被害防止のために設置した電気柵

全国和牛能力共進会宮城大会対策事業

236万円

（担当：畜産園芸課畜産振興係）

5年に一度開催される全国和牛能力共進会が、平成29年9月に宮城県仙台市で開催されます。

市内で育成された和牛が数多く出場できるよう、事前指導会や大会参加費用等の助成を行います。



長崎大会審査風景

多面的機能支払交付金

4億4,576万円

（担当：農業政策推進室農業政策推進係）

田や畑及び農業用水などの資源や農村環境の保全を図るための共同活動に対して支援します。

財源	国・県の負担額	3億3,432万円
	市の負担額	1億1,144万円



子供たちによる田や畑などの生き物調査

ほ場整備事業 1億2,580万円

（担当：農村整備課計画調整係）

ほ場の大区画化や、農地の担い手への集積化を図るため、市内16地区で、ほ場整備を行います。

6次産業推進事業 1,452万円

（担当：6次産業推進室
6次産業推進係）

農林漁業者の6次産業化を支援するため、研修会等の開催や、商品開発・施設整備・広告宣伝費用の1/2を助成します。

- ・商品開発等：上限100万円
- ・施設整備等：上限500万円
- ・広告宣伝等：上限100万円

4 「地域の特性を生かした、産業や交流が盛んなまち」

(1) 持続可能な農林業の育成と栗原ブランドの確立に取り組みます

 = 新規事業、 = 拡充事業 (事業名の頭に標記)

くりはら和牛の郷づくり支援強化事業

2, 120万円

(担当：畜産園芸課畜産振興係)

和牛資源の確保と産地づくりを支援するため、栗原市内で生産された優秀な繁殖素牛や肥育素牛を、みやぎ総合家畜市場から導入した場合に補助金を交付します。

また、産肉能力の高い茂洋美産子^{しげひろみ}、好平茂産子^{よしひらしげ}、勝洋産子^{かつひろ}の場合は、補助金を増額して市内保留を推進し、和牛資源の確保を図ります。



宮城県基幹種雄牛「茂洋美号」^{しげひろみ}

(2) 産業育成と企業誘致による産業拠点を形成します

ニュービジネスチャレンジ等支援事業

504万円

(担当：産業戦略課企業戦略係)

産業の振興と地域の活性化を図るため、市内で創業する事業者に対し、事務所等の賃借料や施設改修費等を助成します。

【制度概要】

- ・ 賃借料補助 (3年間)
補助率 1/2、上限 4万円/月
- ・ 改修経費補助 (1回限り)
補助率 1/2、上限 50万円
- ・ セミナー等参加経費補助
対象経費の 1/2 以内

企業立地投資奨励金 5億7,822万円

企業立地促進奨励金 9,029万円

(担当：産業戦略課企業戦略係)

【企業立地投資奨励金】

市内に新設・移設・増設する企業に対し、投資規模と市内在住の新規常時雇用者数に応じて投資額の10%~20%を助成します。

【企業立地促進奨励金】

市内に新設・移設・増設する企業に対し、投資規模に応じて固定資産税相当額の2/3~全額を3年間助成します。



(有) 築館クリーンセンター



丸電プレス工業(株)

商店街等誘客施設整備事業

2億1,006万円

(担当：産業戦略課商工振興係)

旧栗駒町役場跡地を栗駒山観光への基点及び商店街への集客を図る多目的な空間として整備します。

財源	国の負担額	4,525万円
	市の負担額	1億6,481万円
	(うち市債[借入金])	1億5,520万円



誘客施設の建設予定地

4 「地域の特性を生かした、産業や交流が盛んなまち」

(2) 産業育成と企業誘致による産業拠点を形成します

= 新規事業、 = 拡充事業 (事業名の頭に標記)

中小企業経営安定化支援事業 3億4,000万円
中小企業振興資金利子補給補助事業 1,300万円

(担当：産業戦略課商工振興係)

中小企業者の経営の合理化及び健全な発展、安定を図るため、融資のあっせんを行います。また、保証料の全額と、利子負担の大きい1年目・2年目の利子額の1/2を助成します。

【制度概要】

融資制度

- ・融資限度額：2,000万円
- ・償還年限：設備資金10年 運転資金7年

保証料補給制度

- ・融資に係る保証料を全額補給

利子補給補助

- ・利子額の1/2補助、2年間（借換え分は一部対象外）

(3) 地域資源を生かした広域観光戦略を構築し、 栗原市を発信します

観光周遊支援事業

229万円

(担当：田園観光課観光企画係)

観光客の二次交通対策として、市内の登録店で宿泊、食事、お土産などの買い物等の利用額に応じて、レンタカー費用の一部を助成し、誘客拡大と地域活性化を図ります。

くりこま高原駅待合室等リニューアル整備事業

1億404万円

(担当：田園観光課観光企画係)

栗原市の玄関口である、くりこま高原駅内のインフォメーション機能を強化し、国内外から訪れる観光客に対して利便性と快適性を向上させるため、改修工事を行います。

財源 市の負担額 1億 404万円
(うち市債[借入金] 9,290万円)



待合室等の完成イメージ図

4 「地域の特性を生かした、産業や交流が盛んなまち」

(3) 地域資源を生かした広域観光戦略を構築し、 栗原市を発信します

新 = 新規事業、**拡** = 拡充事業 (事業名の頭に標記)

新 スポーツ・文化合宿支援事業

200万円

(担当：社会教育課スポーツ推進係、生涯学習係)

スポーツや文化の振興、地域の活性化を図るため、市内の宿泊施設への宿泊を伴うスポーツや文化活動の合宿を行う市外の団体に、宿泊費や施設利用料に対する補助を行います。

【対象】

小学校から大学までの児童・生徒又は学生で構成された、スポーツ又は文化活動を行う市外のアマチュア団体

台湾との国際交流事業

695万円

(担当：市民協働課地域振興係、危機対策課防災係、
田園観光課観光企画係、社会教育課スポーツ推進係)



南投市平和国小学校児童による太鼓演奏

巨大地震被災地という共通点から、地震災害を教訓とした防災交流として合同の防災訓練を行います。

また、代表団の訪問を受け入れ交流を更に推進するとともに、栗原ハーフマラソン大会へ選手を招待するなど、市民レベルでの相互交流を促進し姉妹都市提携を目指します。

スウェーデンとの国際交流事業(オーロラ大使派遣事業)

433万円

(担当：市民協働課地域振興係)

市内在住の高校1、2年生を対象に、市の大使としてスウェーデン王国に派遣し、ホームステイによる現地の人々との様々な交流を通して、文化・歴史・行政・福祉など日本との違いを理解し、豊かな国際感覚を養うとともに、国際化に伴う外国人への対応、グローバル社会に貢献できる人材育成及び地域づくりを目指します。



ウィルヘルムハグランズ工業高校前

4 「地域の特性を生かした、産業や交流が盛んなまち」

(3) 地域資源を生かした広域観光戦略を構築し、 栗原市を発信します

 = 新規事業、 = 拡充事業 (事業名の頭に標記)

栗駒山麓ジオパーク推進事業

2, 798万円

(担当：ジオパーク推進室ジオパーク推進係)

栗駒山麓ジオパークへの取り組みのきっかけとなった「平成20年岩手・宮城内陸地震」から10年目の節目の年を迎え、さらに事業を推進するため、ジオサイトを解説するガイドブックの発行やジオパーク特産商品「栗駒山麓のめぐみ」の開発、ジオガイドの養成を行うとともに、小中学校でのジオパーク学習、ジオツアーを充実させ、普及に努めていきます。

また、東北のジオパークが一堂に会して開催する「東北ジオパークフォーラム」を栗駒山麓ジオパークで開催することもあり、この事業をきっかけにたくさんの方にジオパークに触れていただき、栗駒山麓ジオパークを全国に発信していきます。



栗駒山麓ジオパーク学習発表会での様子

栗駒山麓ジオパーク整備事業

1億2, 125万円

(担当：ジオパーク推進室ジオパーク推進係)

平成27年9月に日本ジオパークに認定された栗駒山麓ジオパークを、市内外へ情報発信するとともに、体験、学習等の活動拠点として、ビジターセンターやジオサイトの説明看板、案内看板の整備を行います。



ビジターセンターの展示イメージ図

財源	市の負担額	1億2, 125万円
	(うち市債[借入金])	1億 870万円)

4 「地域の特性を生かした、産業や交流が盛んなまち」

(3) 地域資源を生かした広域観光戦略を構築し、 栗原市を発信します

新 = 新規事業、**拡** = 拡充事業 (事業名の頭に標記)

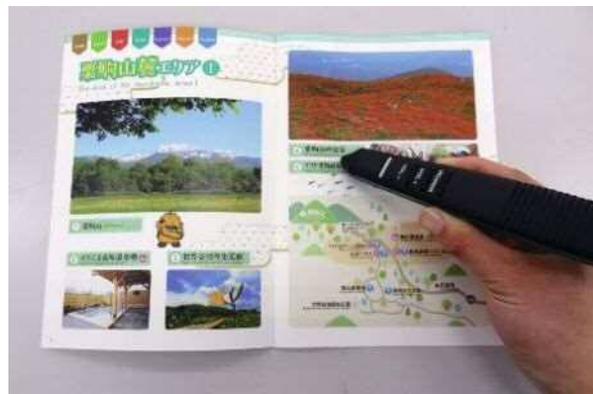
拡 インバウンド等推進事業

831万円

(担当：田園観光課観光企画係)

訪日外国人旅行者の誘客を図るため、近隣市町村と協力しながら、プロモーションや情報発信など、広域観光事業の展開をします。

財源 国の負担額 498万円 市の負担額 333万円



「多言語音声対応ガイドブック・音声ガイドペン」

拡 くりはら田園鉄道公園運営事業

5,776万円

(企画課企画政策係)

貴重な旧くりはら田園鉄道の資産を展示、公開する「くりでんミュージアム」が平成29年4月にオープンしました。

KD95など気動車の動態保存及びレールバイク乗車会などのイベント開催とあわせ、くりでんの魅力を発信し、さらなる観光誘客を図ります。

○くりでんミュージアム

・開館時間

午前10時～午後5時
(入館は午後4時まで)

・休館日

毎週火曜日および年末年始



くりでんミュージアム内観